

2013特別見学ツアー一報告書

[釈王寺本堂]

ここは香川県東かがわ市大谷/前方に釈王寺の山門とその左手背後に本堂の屋根が見えている



山門/木造



この山門は本堂(木造)の施工をした社寺建築工務所の棟梁の一人が後年になって建てたという

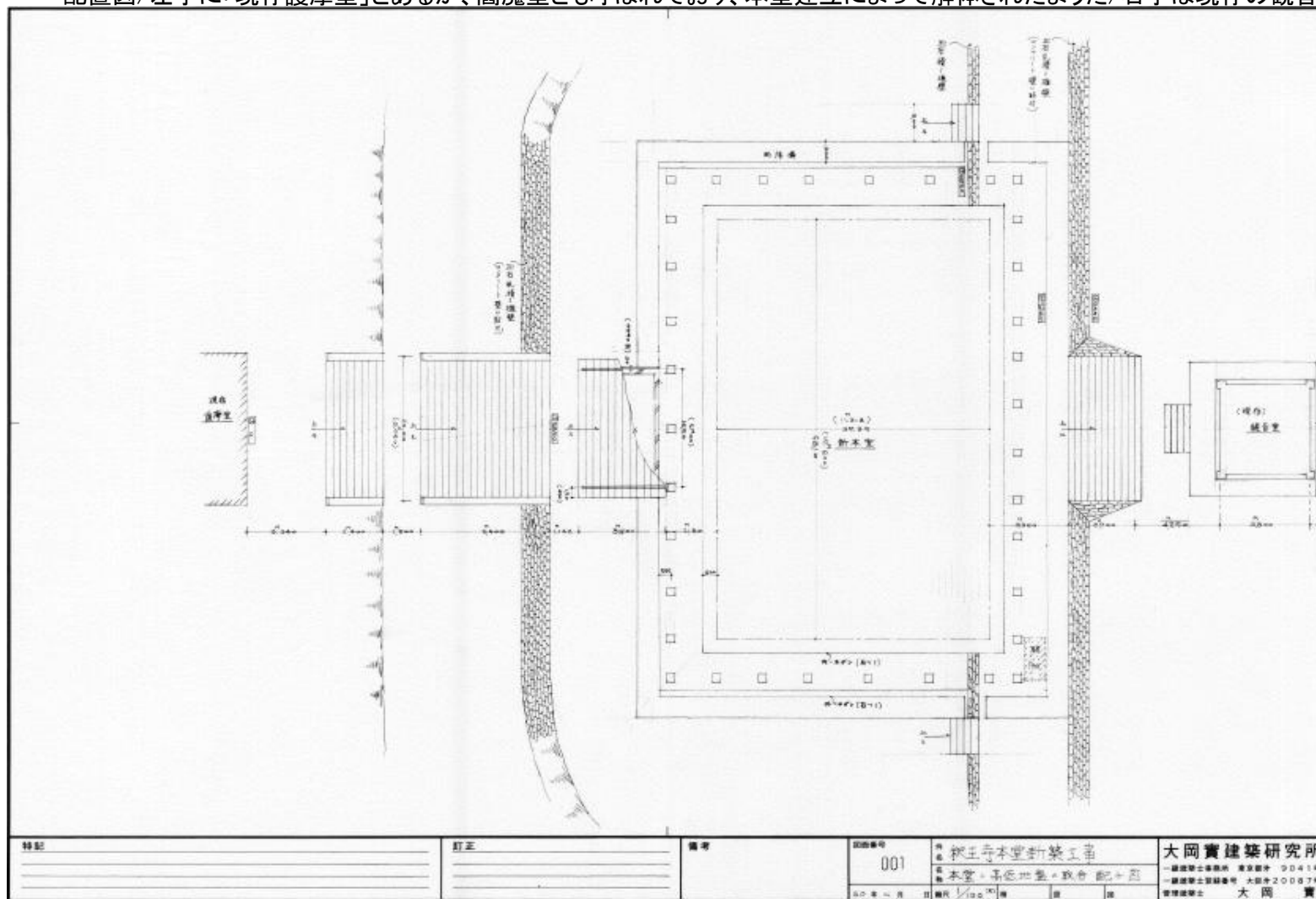




正面前方に本堂が見える/右手前は客殿



配置図/左手に「現存護摩堂」とあるが、閻魔堂とも呼ばれており、本堂建立によって解体されたようだ/右手は現存の観音堂



特記

訂正

備考

図面番号
001

名称 釈迦寺本堂新築工事
 所在地 本堂・高低地盤・致台 配・瓦

大岡實建築研究所
 一級建築士事務所 東京都 9041号
 一級建築士登録番号 大阪府20087号
 管理建築士 大岡 實

本堂正面



屋根の形式(寄棟)も含めて、正面外観は当麻寺本堂を範としていると言われる



アップで見る

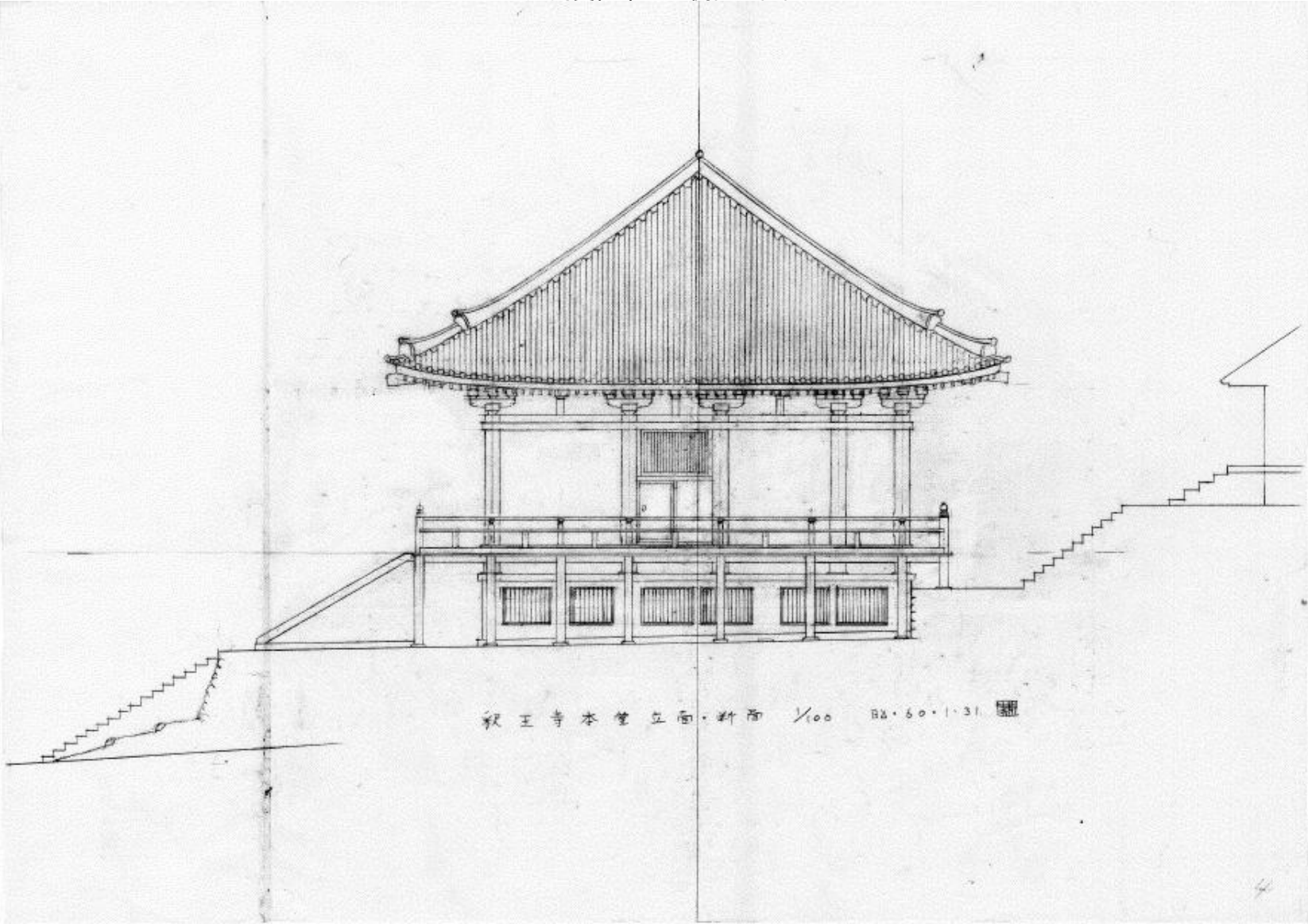


階段下から見上げるとこんなイメージとなる

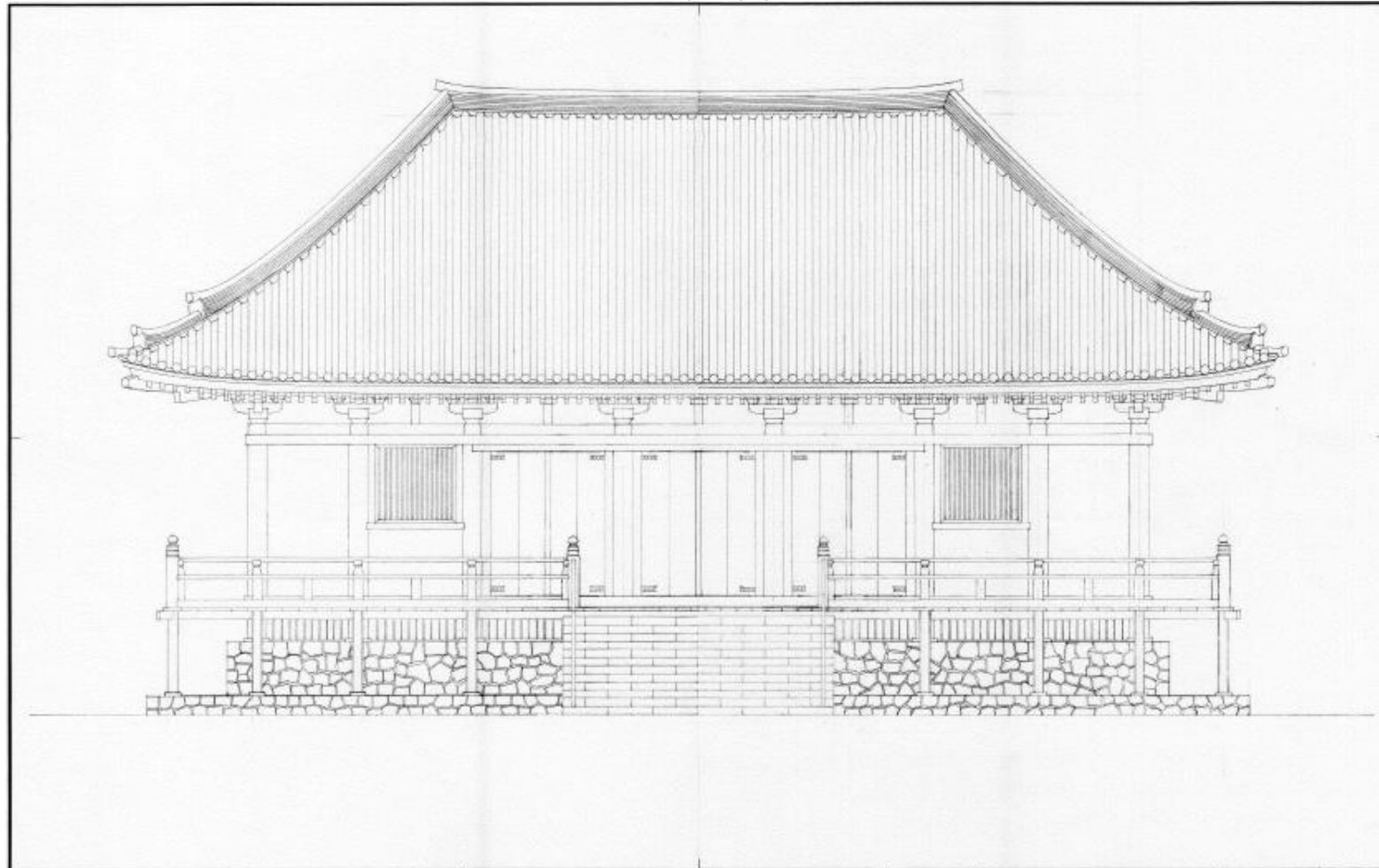




大岡實直筆の右側面立面図



正面立面图



物記

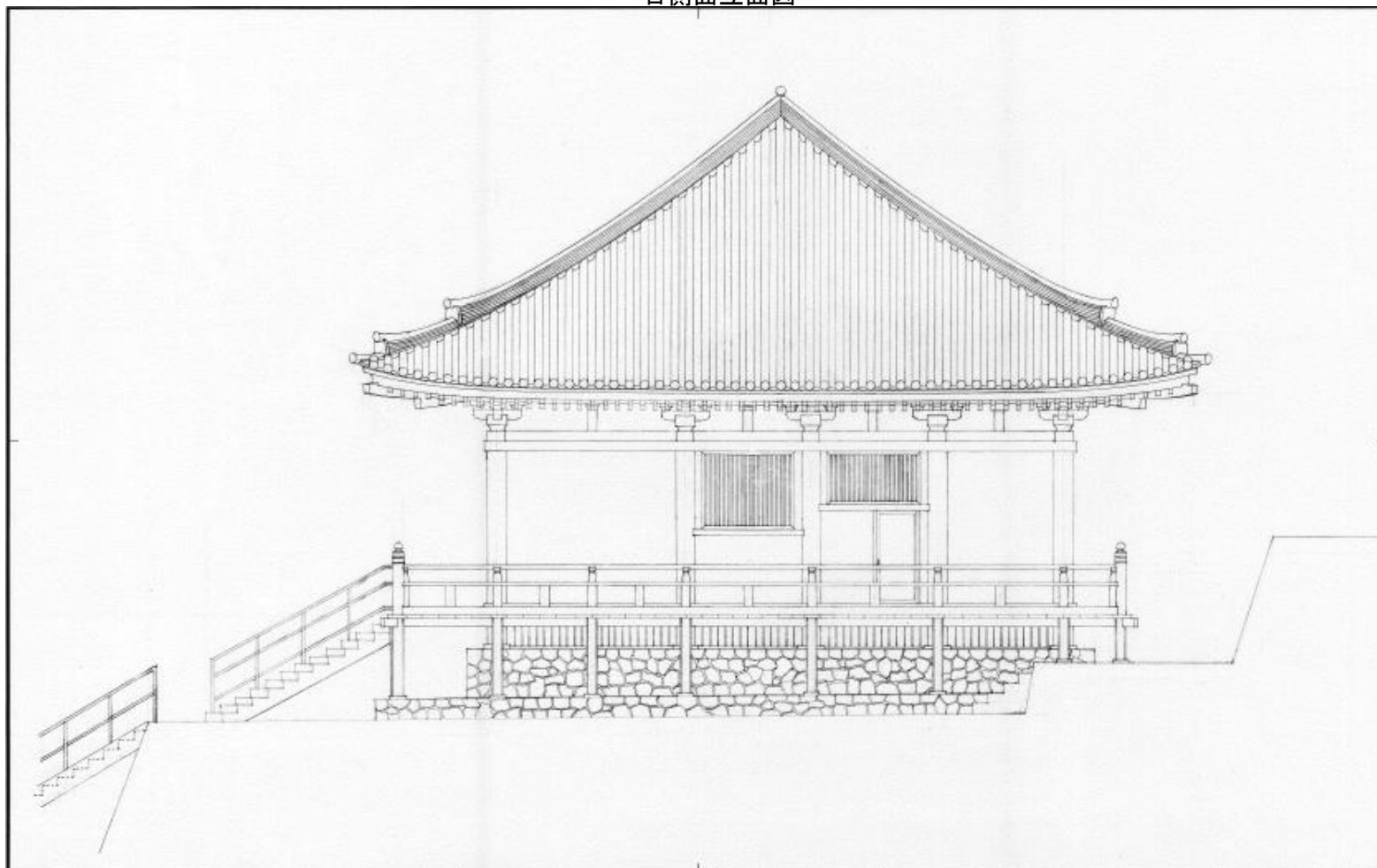
訂正

備考

図面番号
006
名称 天王寺本堂新築工事
種別 正面立面
比例 1/60
日期 二〇〇九年

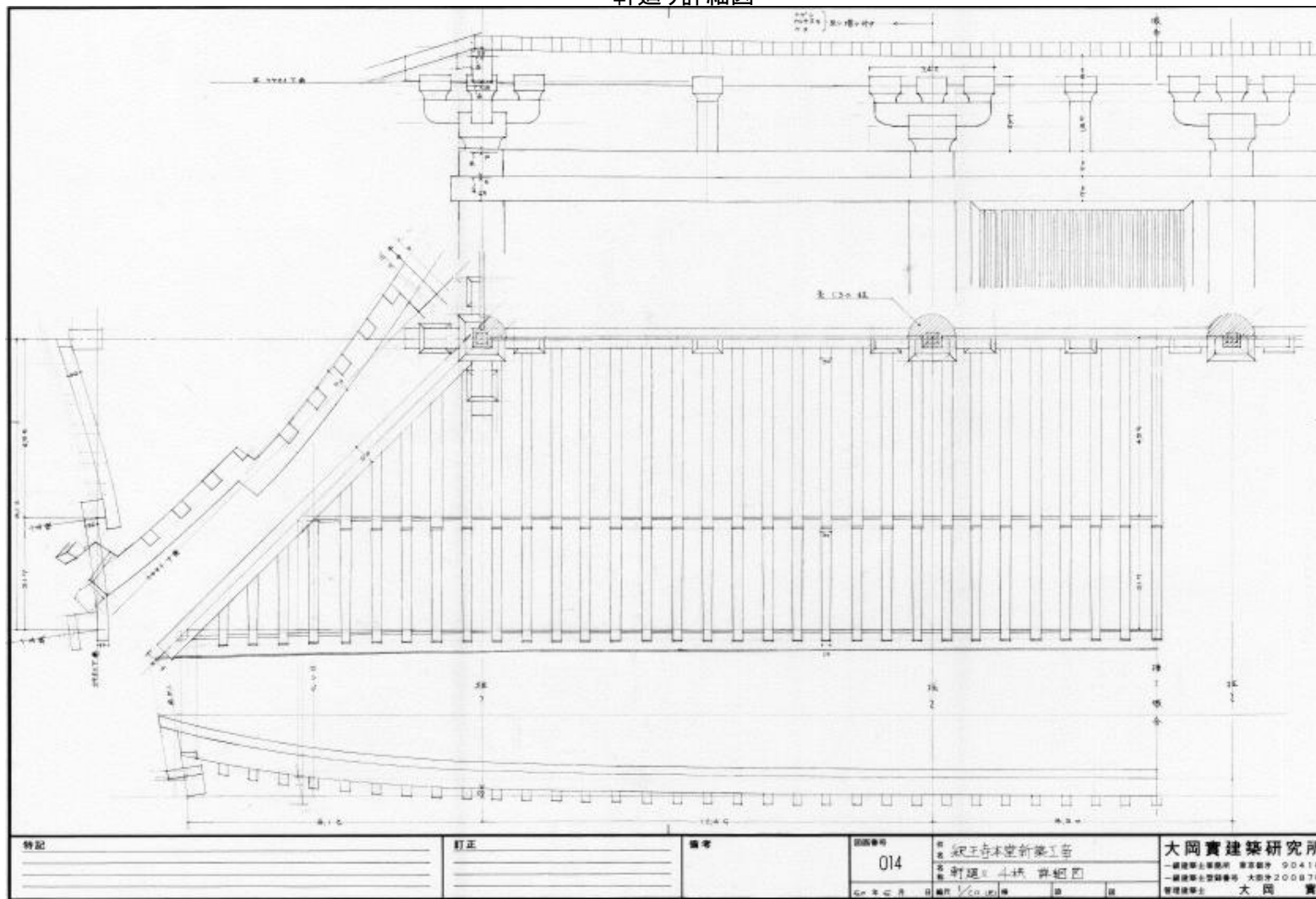
大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都 0041号
一級建築士登録番号 大分県 20087号
管理建築士 大岡 實

右側面立面図



<p>特記</p>	<p>訂正</p>	<p>備考</p>	<p>図面番号 005</p> <p>作業 釈王寺本堂新築工事</p> <p>種別 側面立面図</p>	<p>大岡實建築研究所</p> <p>一級建築士事務所 東京都 2041号</p> <p>一級建築士登録番号 大岡実 20087号</p> <p>管理建築士 大岡 實</p>
-----------	-----------	-----------	---	---

軒廻り詳細図



左側面/左手の擁壁の上に観音堂(既存)が見える



左後方から見る



右側面/右端コーナーは閼伽(あか)



前面を右手から見る



左側面を後方から見る



本堂背面/右手の玉石乱積の擁壁(コンクリート壁に貼付)も同時に施工された



右側面を前方から見る



正面ディテール



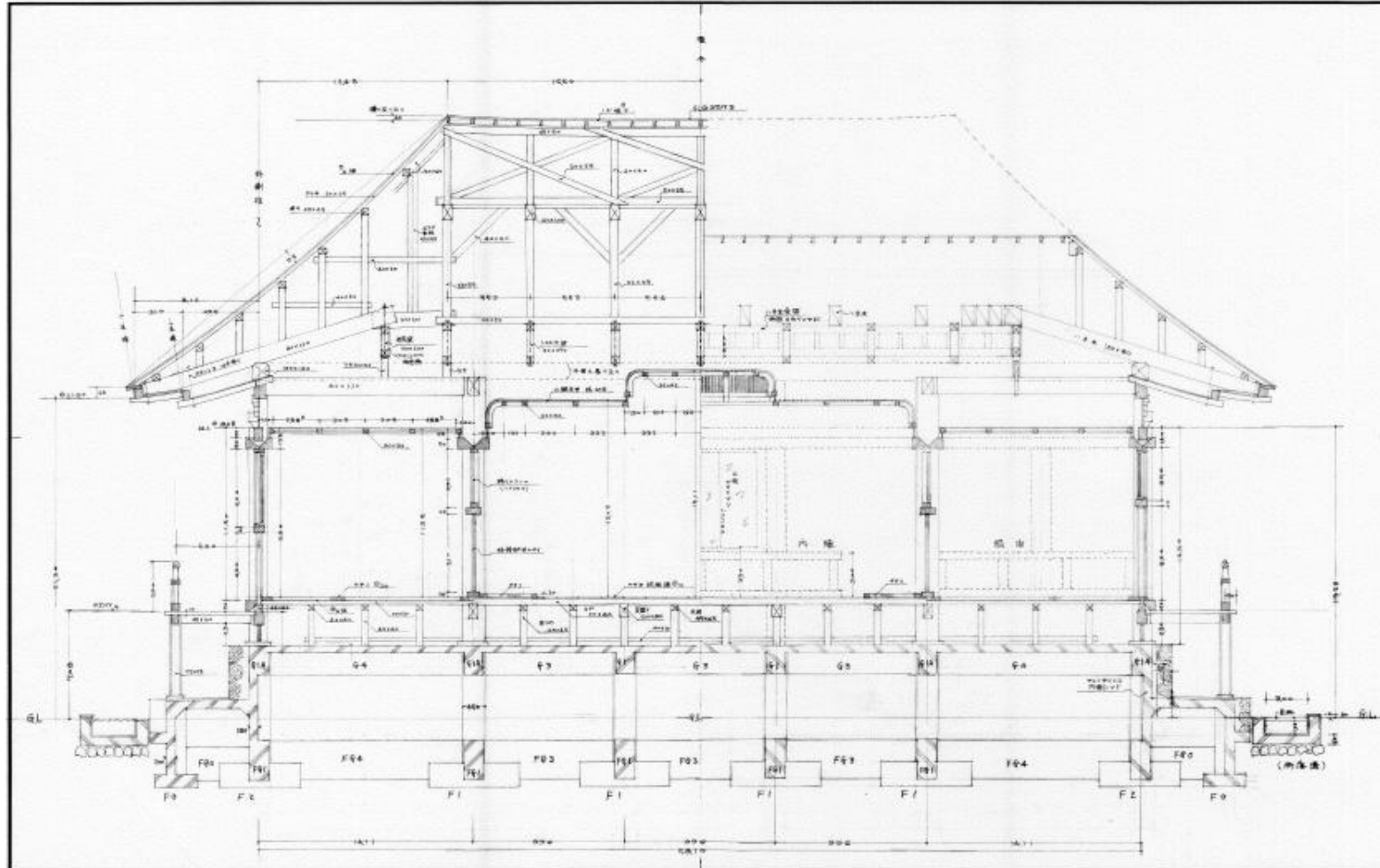


大
悲
殿

納
札
入

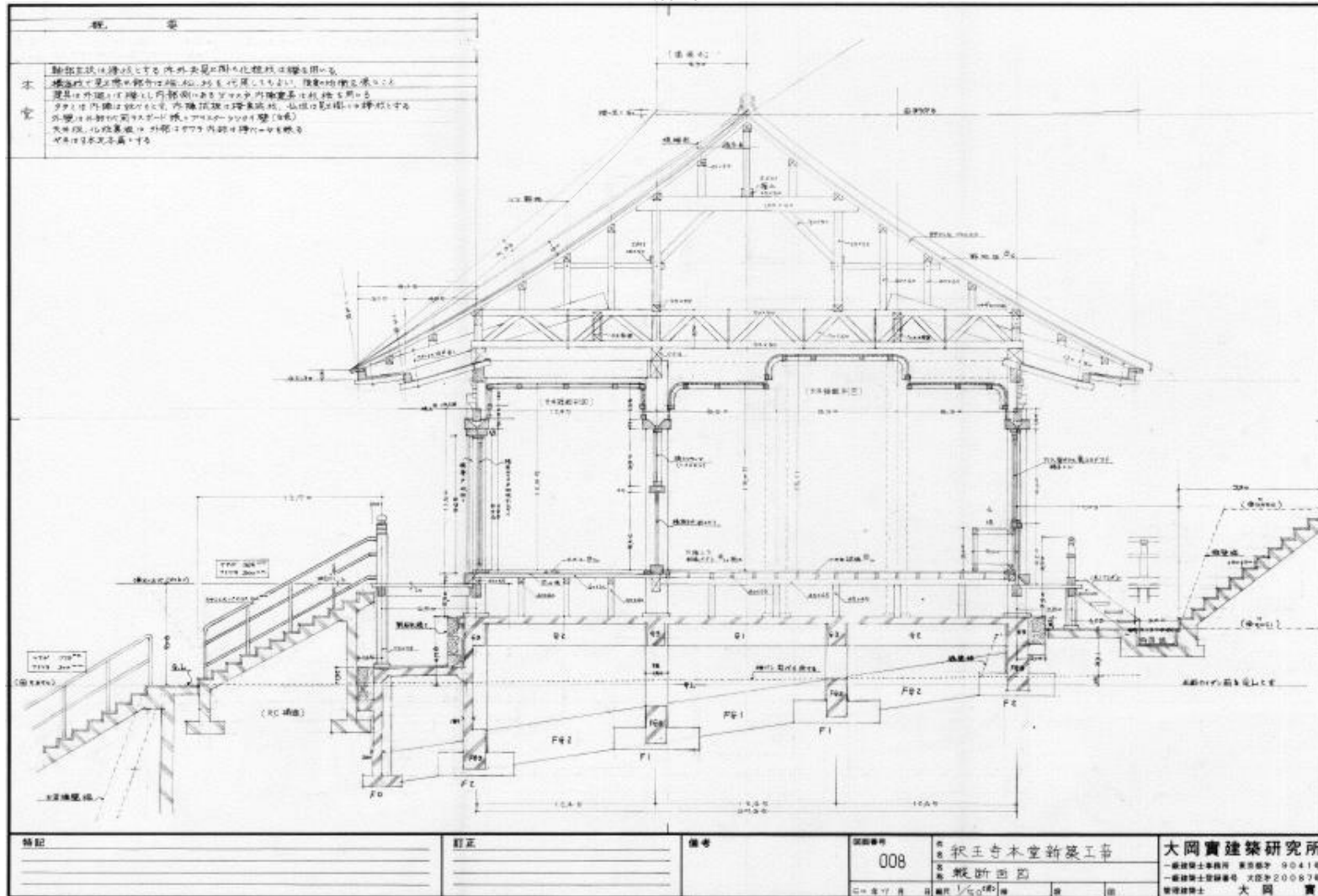


断面图



特記 _____ _____ _____	訂正 _____ _____ _____	備考 _____ _____ _____	図面番号 009	大岡實建築研究所 一級建築士事務所 東京都庁 9041号 一級建築士登録番号 大阪府 20067号 管理棟 大岡實
名称 秋王寺本堂新築工事			名称 横断断面	
縮尺 1/40			縮尺 1/40	

断面図



特記

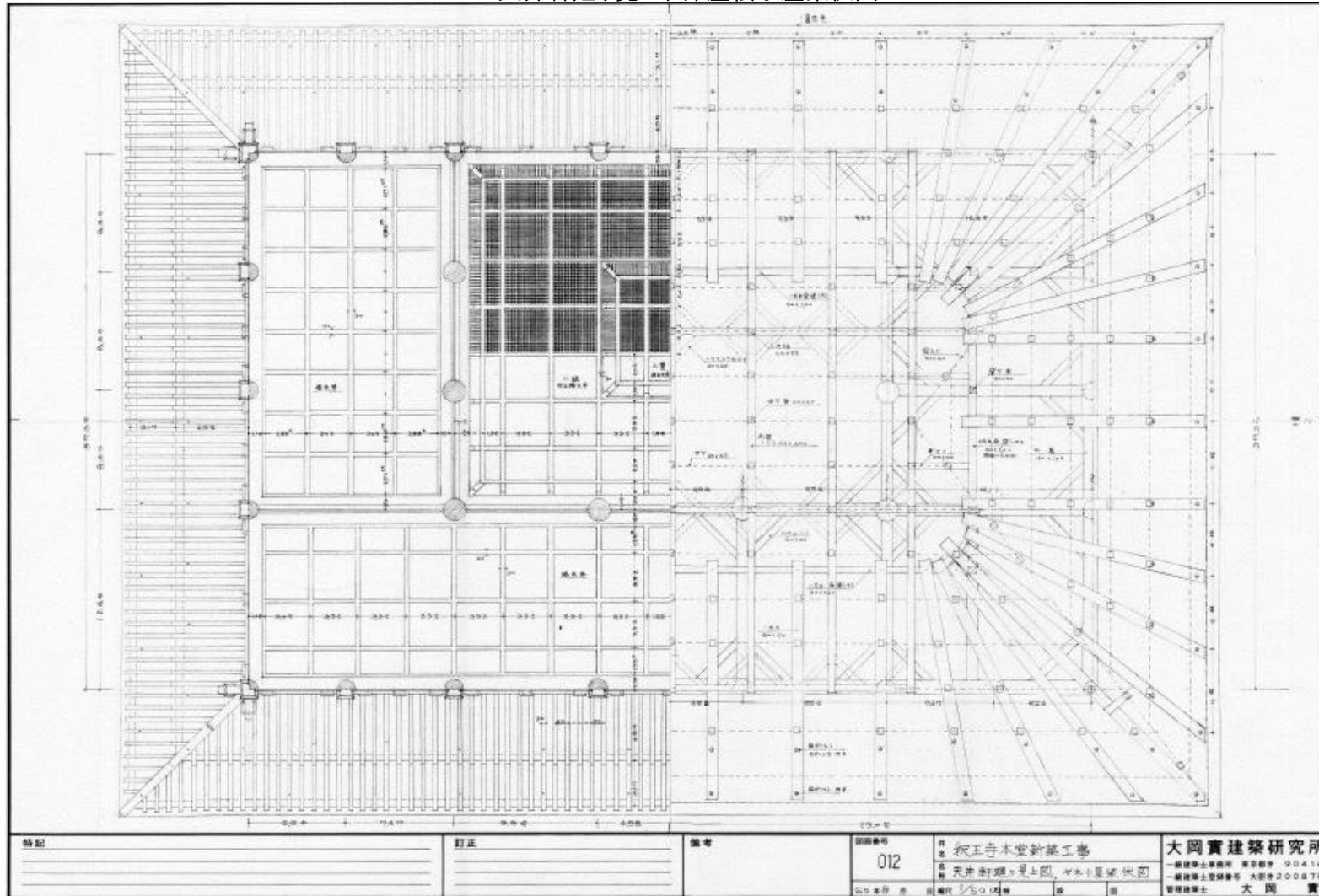
訂正

備考

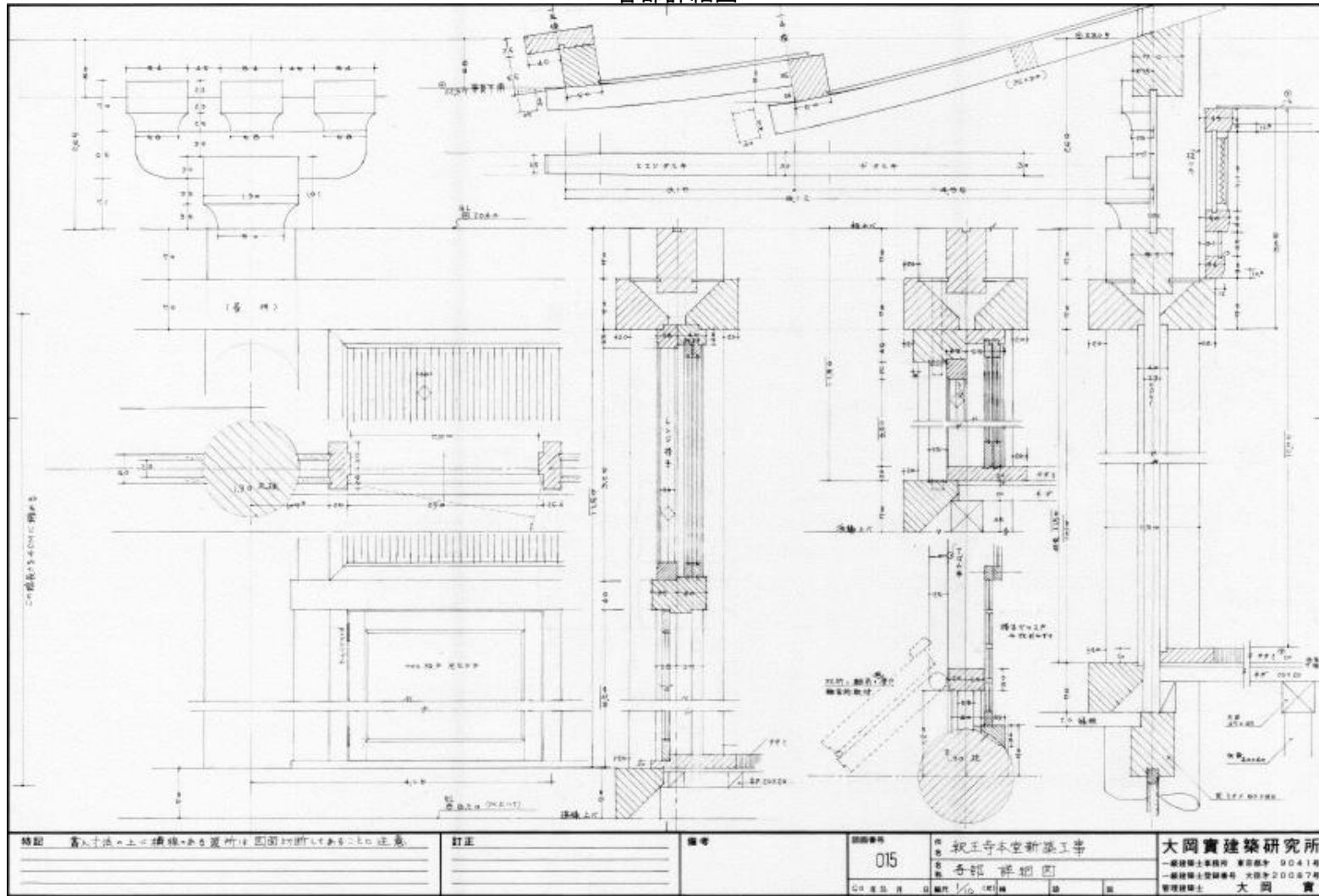
図面番号
008
名称
釈王寺本堂新築工事
内容
概断面図
作成
2007年 月 日
設計
〇〇〇〇

大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都 9041号
一級建築士登録番号 大岡実 20067号
建築士 大岡 實

天井軒廻り見上図、屋根小屋梁伏図



各部詳細図



特記 書入寸法・土口・構造・お盆置所等 図面切取に注意

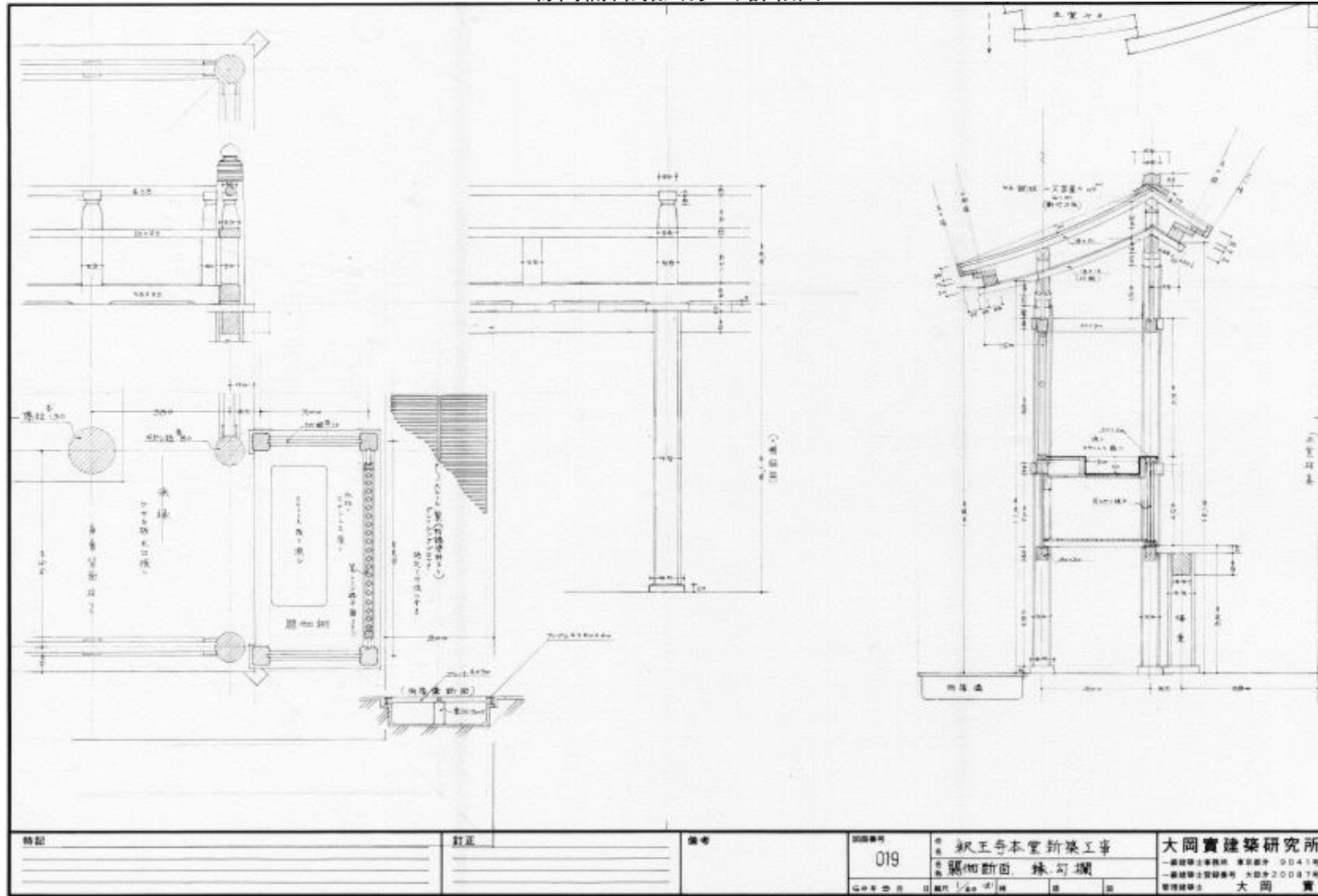
訂正

備考

図面番号
015
名称
釈王寺本堂新築工事
各部詳細図

大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都千代田区 5041号
一級建築士事務所 大阪府大阪市 20007号
管理建築士 大岡 實

縁高欄、閼伽(あか)詳細図



特記

訂正

備考

図面番号	019
名称	釈王寺本堂新築工事 閼伽断面、縁高欄
縮尺	1/20

大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都千代田区千代田 004116
一級建築士登録番号 大岡実 2003796
事務所 大岡実

斗拱は平三斗/中備は間斗束





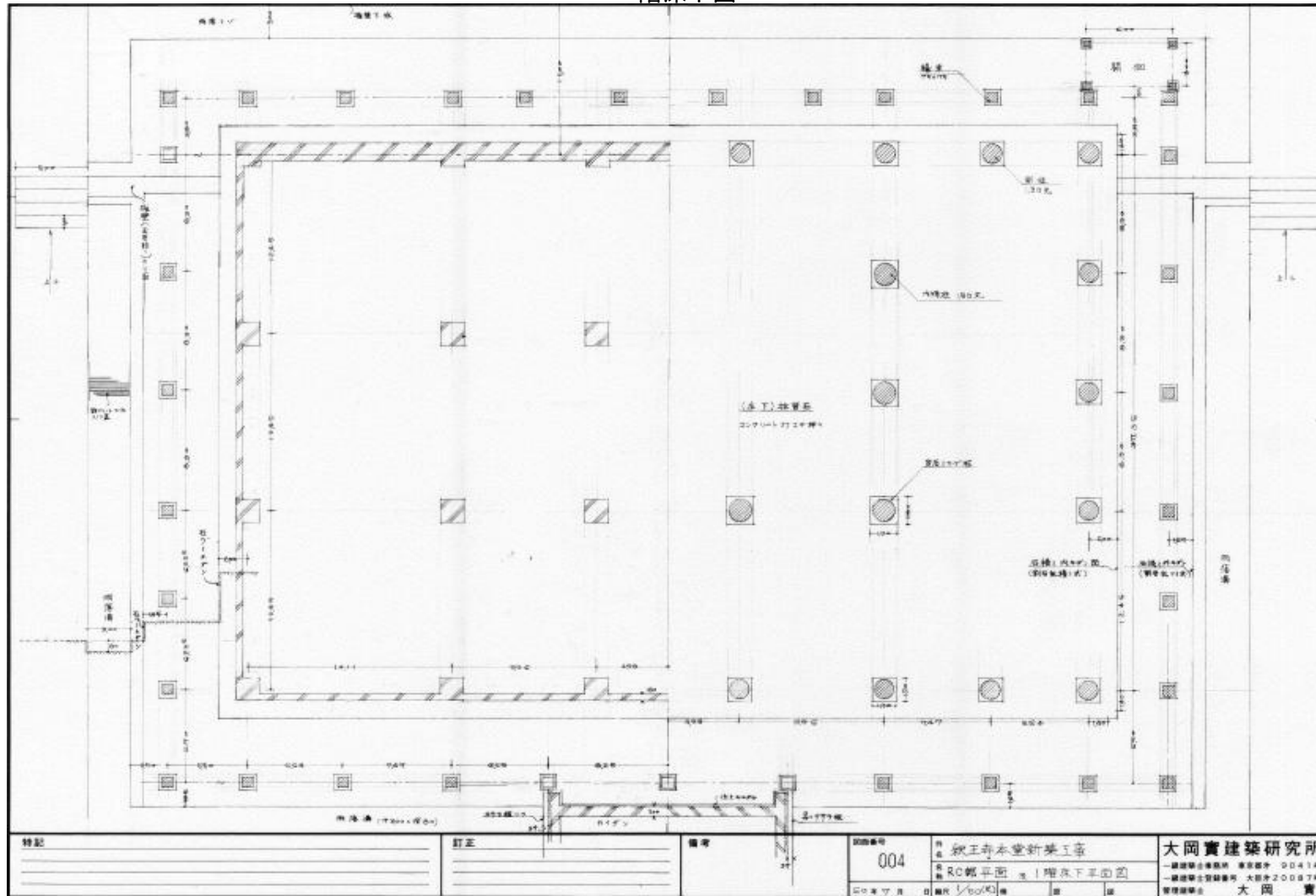








一階床下図



特記

Blank space for special notes.

訂正

Blank space for corrections.

備考

Blank space for remarks.

図面番号
004

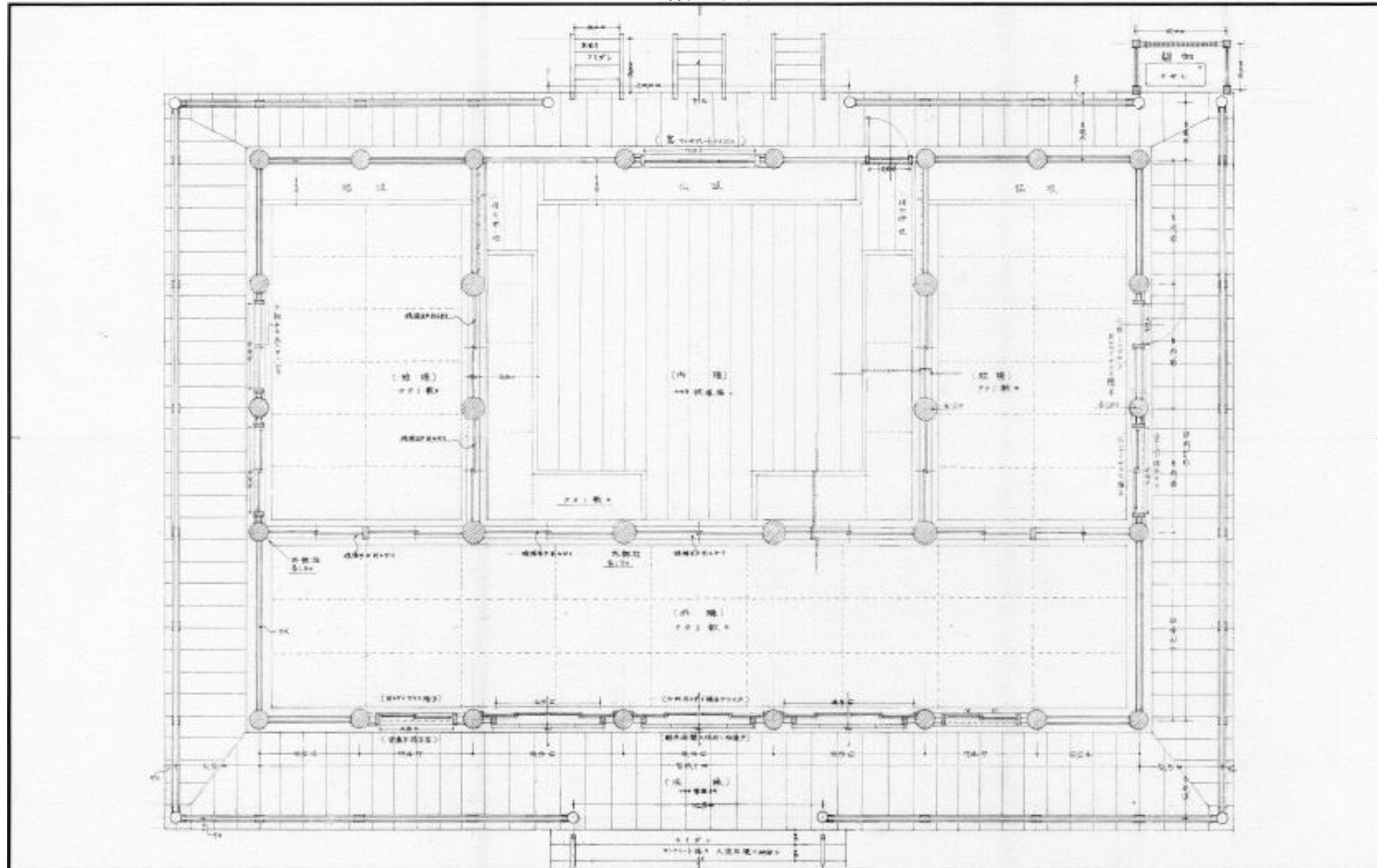
社 秋正寺本堂新築工事
R RC概平面 1階床下平面図

大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都 0041号
一級建築士登録番号 大岡実 20087号
管理建築士 大岡 實





一階平面図



特記 寸法書入はは尺貫法単位である

訂正

備考

図面番号

003

社名 親王寺本堂新築工事

名称 本堂 平面図

大岡實建築研究所

一級建築士事務所 東京都 9041号

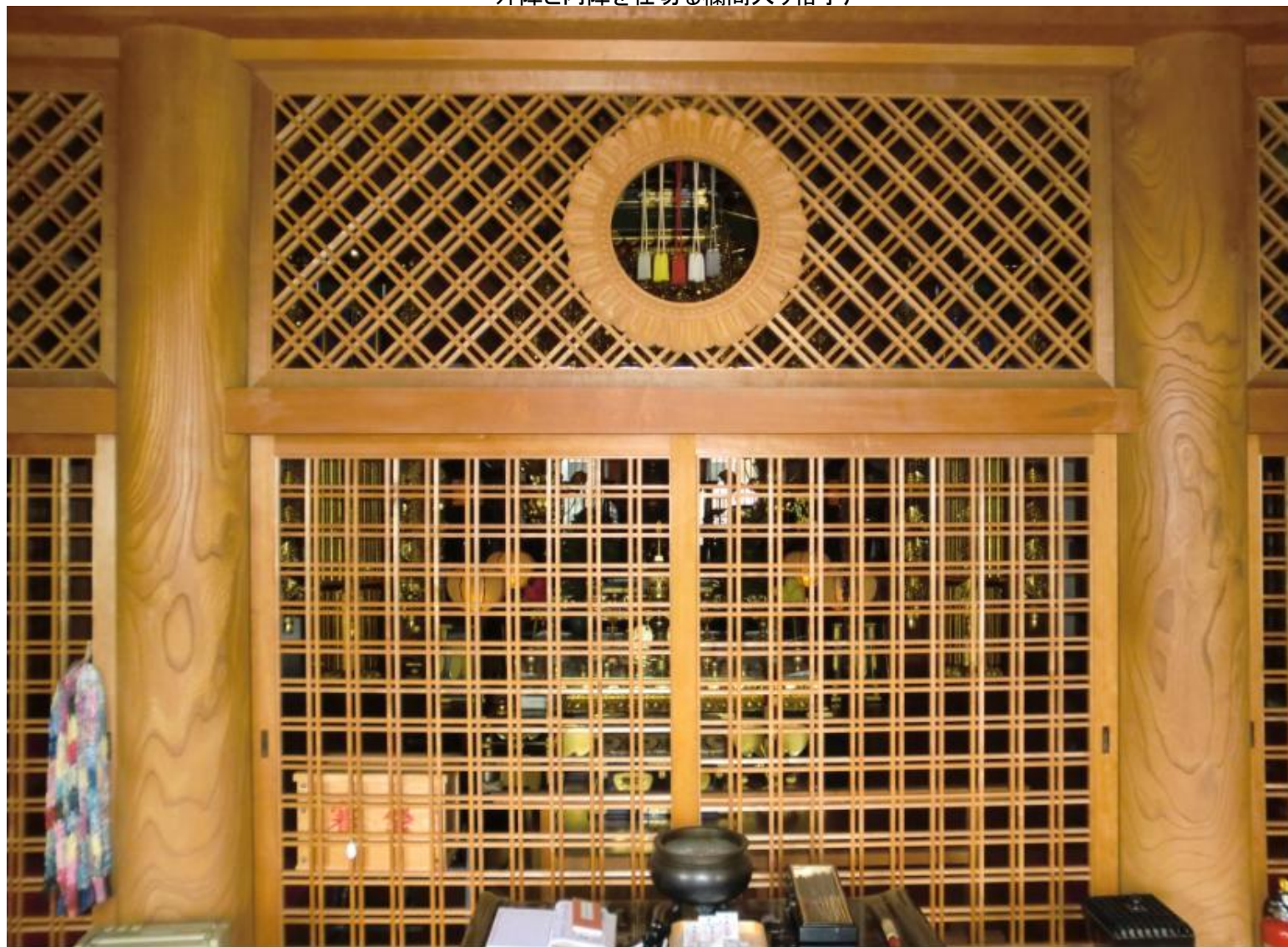
二級建築士登録番号 大阪府 20057号

管理建築士 大岡 實

外陣

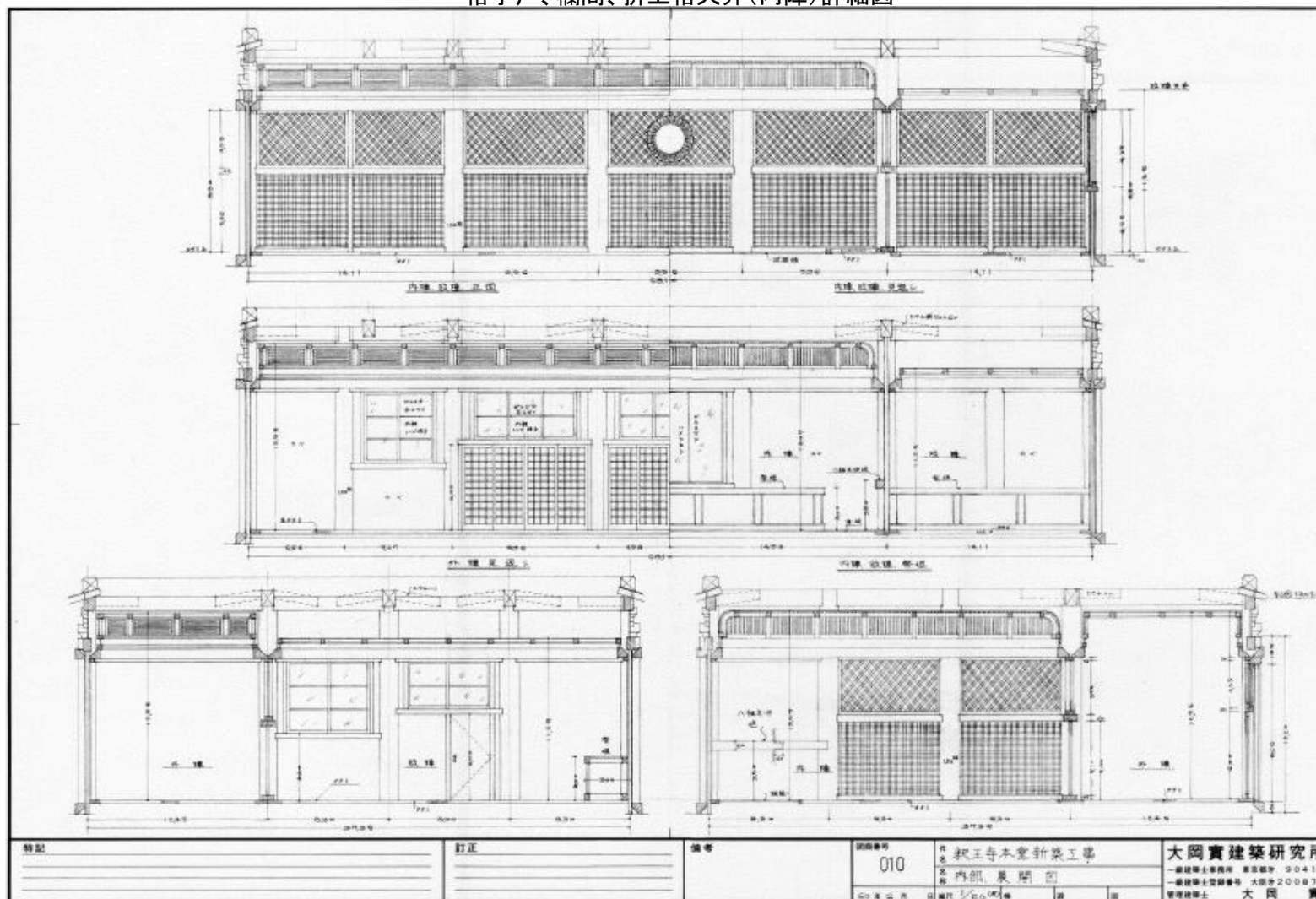


外陣と内陣を仕切る欄間入り格子戸





格子戸、欄間、折上格天井(内陣)詳細図



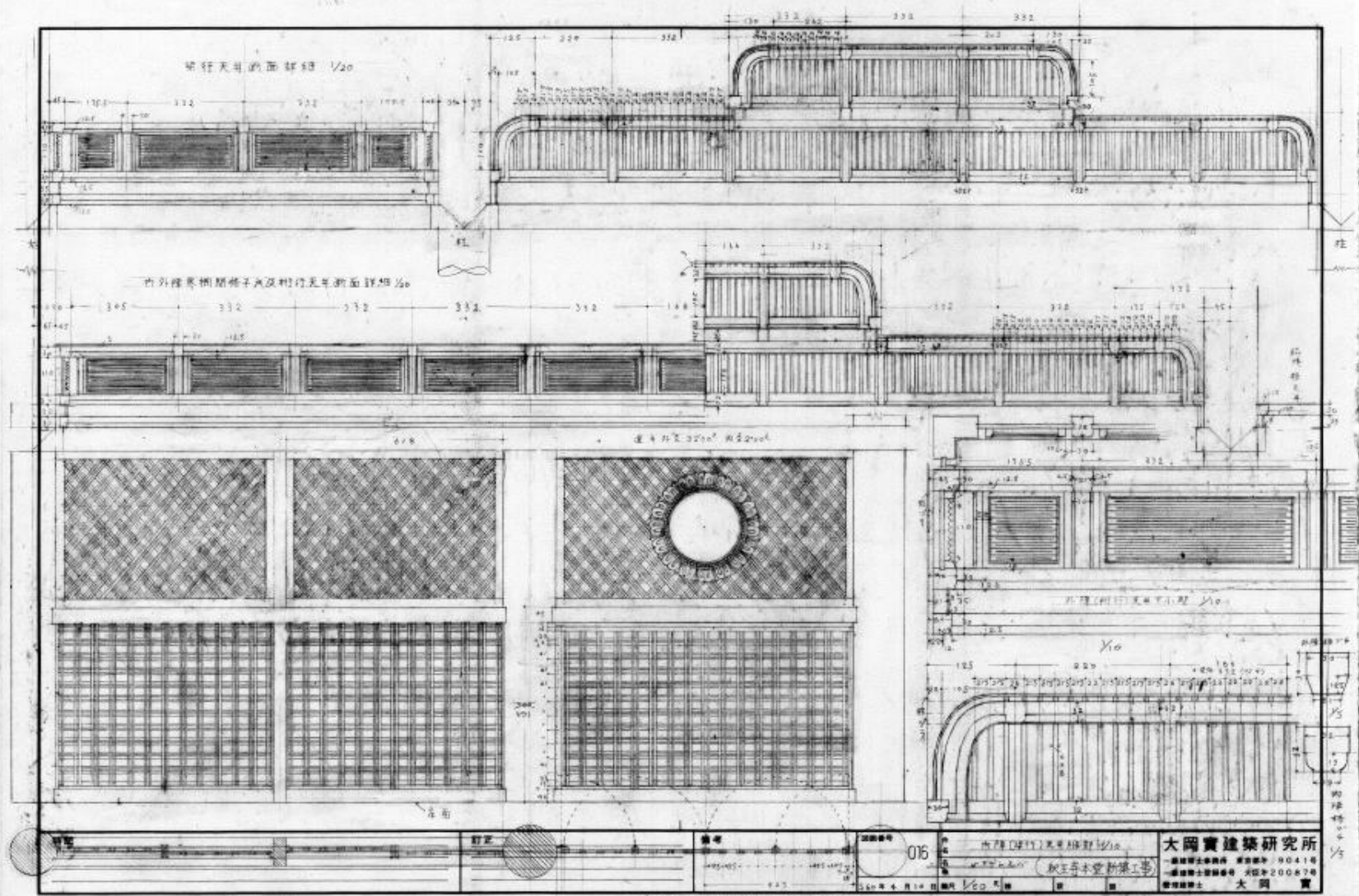
特記

訂正

備考

図面番号
010
名称
釈王寺本堂新築工事
名称
内部展開図

大岡實建築研究所
一級建築士事務所 東京都 2041号
一級建築士登録番号 大岡実 20087号
管理建築士 大岡 實



016

(图中各部分均有详图及剖面图，一覽便知)

016

大圖實建築研究所
 地址：上海南京路
 電話：二〇〇八七〇

大圖實建築研究所
 地址：上海南京路
 電話：二〇〇八七〇

左手が観音堂(既存)/ここに本尊の木造聖観音立像(重要文化財)が収蔵されている





境内社もある



山門方向を見下ろす



さて、他の建物(他者の設計による)も見てみよう/これは不動堂



不動堂正面/江戸時代の建立のようだ



境内側から見た山門と鐘楼(右手)



鐘樓





山門



山門左側面





これは客殿





アップで見る/この建物は江戸時代の建立という



客殿内部から見た不動堂



こちらには通用門がある



築地塀も整備され、立派な境内が構成されている

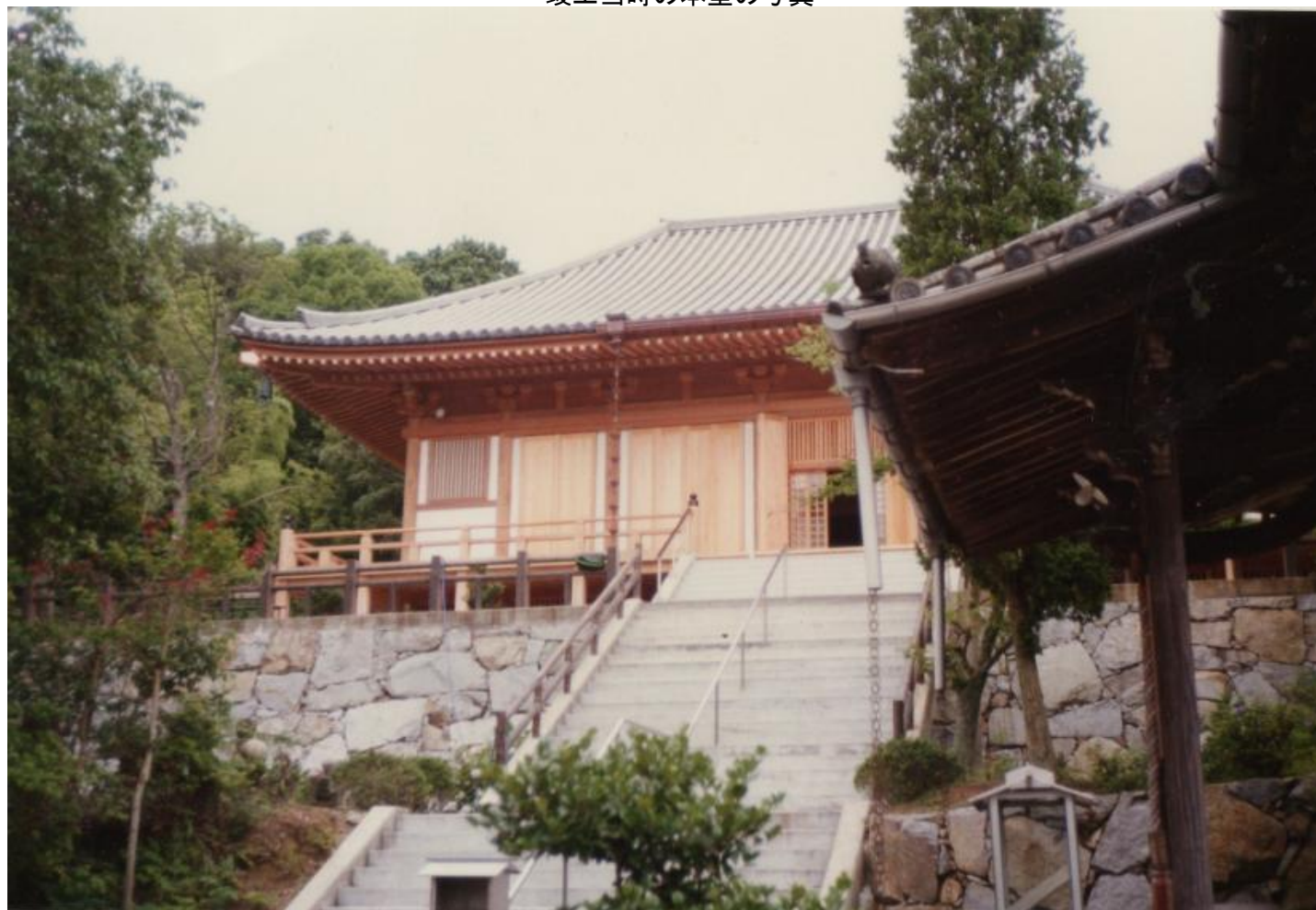


宝篋印塔もあった



お宝写真

竣工当時の本堂の写真



この写真は設計にあたって現地を訪れ、手前にあった護摩堂(閻魔堂/解体された)の前で大岡實(中央)と松浦弘二(右手)



この写真は「松浦資料」の釈王寺の資料の中にあつたもので、現地調査の後、どこかに立ち寄つた際に撮影したものと思われる/背後の建物は何であろうか/いずれにしてもこの時大岡實は高齢となつており、この作品が大岡實が携わり、実現した最後のものとなつた(ちなみに完成は大岡實が亡くなつた後となつてゐる)

大岡實は時代の要請にあつた不燃建築(コンクリート造)による社寺建築の設計を旨とし、建築家として邁進してきた訳であるが、必ずしも木造建築を否定してきたわけではなく、発注者の思いと条件が揃えば木造の社寺建築も手掛けてゐるようだ。それは長年に渡り、文化財保存の場に身を置いてきたことからの伝統的社寺建築への深い造詣が、その設計活動の中に一貫して流れてゐることからも頷けることであらう。

そして木造の釈王寺本堂が大岡實の遺作となつたことは、結果として大岡實の伝統的社寺建築への思いを後世に残すことにもなつたのではなからうか。



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和60	1985	釈王寺 本堂	香川県 東かがわ市	昭和60～63	松浦弘二	松浦弘二、松本構造設計	社寺建築工務所	木造、一部RC造

釈王寺 地図

